

監査法人の指摘を 『Toolbox/監査ジャーナル』でクリア

「テレビ東京」は、東京オリンピックが開催された1964年（昭和39年）に開局。4月12日正午の時報と共に放送がスタートしました。

2010年には、BSジャパン、テレビ東京ブロードバンドと並び、「テレビ東京ホールディングス」の傘下に。「地上デジタル7チャンネル」への移行を進める一方で、BSとの連動、ネット・モバイルを活用したコンテンツ制作など、総合メディア集団としても生まれ変わりつつあります。

放送エリアは、テレビ東京をキー局に、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビせとうち、テレビ北海道、TVQ九州放送、の6局ネットワークで全国視聴可能世帯の約70%をカバーしています。

1987年（昭和62年）に電算部門から独立した、株式会社テレビ東京システム（以下、systx）は、テレビ東京グループ会社は勿論、前述の系列各社も含めたIT全般の開発・運用・保守を一手に担っています。

株式会社テレビ東京



- 本社
東京都港区虎ノ門4-3-12
- 開局
1964年4月12日
- 資本金
89億1,095万7,000円

- 事業内容
地上波テレビ放送を中心とした放送事業及び放送番組等を二次的に利用する権利、その他放送番組等から派生する権利（周辺権利）を利用したライセンス事業

株式会社テレビ東京システム



- 本社
東京都港区虎ノ門4-3-12
- 設立
1987年10月
(テレビ東京の電算部より独立)
- 資本金
1千万円

- 事業内容
テレビ東京及びその系列局・関連会社向けシステムの開発・保守・運用全般

導入の背景 特権ユーザーのアクセス監視が課題

2008年度、JSOX施行初年度、テレビ東京がIT統制で監査法人から改善を求められた唯一の事項は「開発と運用の要員を分けて、開発要員には本番環境のアクセス権をなく奪するべき」という内容でした。しかし、これは要員の倍増でもしない限り対応が出来ない内容です。そこで「監査ジャーナル」を用いて本番環境へのアクセス監視を行う事で、この課題を解決しました。

テレビ東京はIBM System/34を1978年に導入して以来30年以上の長きに渡り、IBM iのシリーズを利用してきました。その経験から、要員増なしに本番環境へのアクセスを制限する若しくは監視する方法として以下のふたつの案を検討しました。

1. ひとりの担当者に開発用と保守用のユーザーを与え、開発用には本番環境へのアクセス権を与えずに使い分けることで対応する。
2. 監査ジャーナル機能を用いて本番環境へのアクセスログを収集・監視し、不正を抑止する。

1の案だと、監査の為だけの対応になります。悪意を持って不正を働けば実施出来てしまいます。そうした理由から2の案が採用されました。

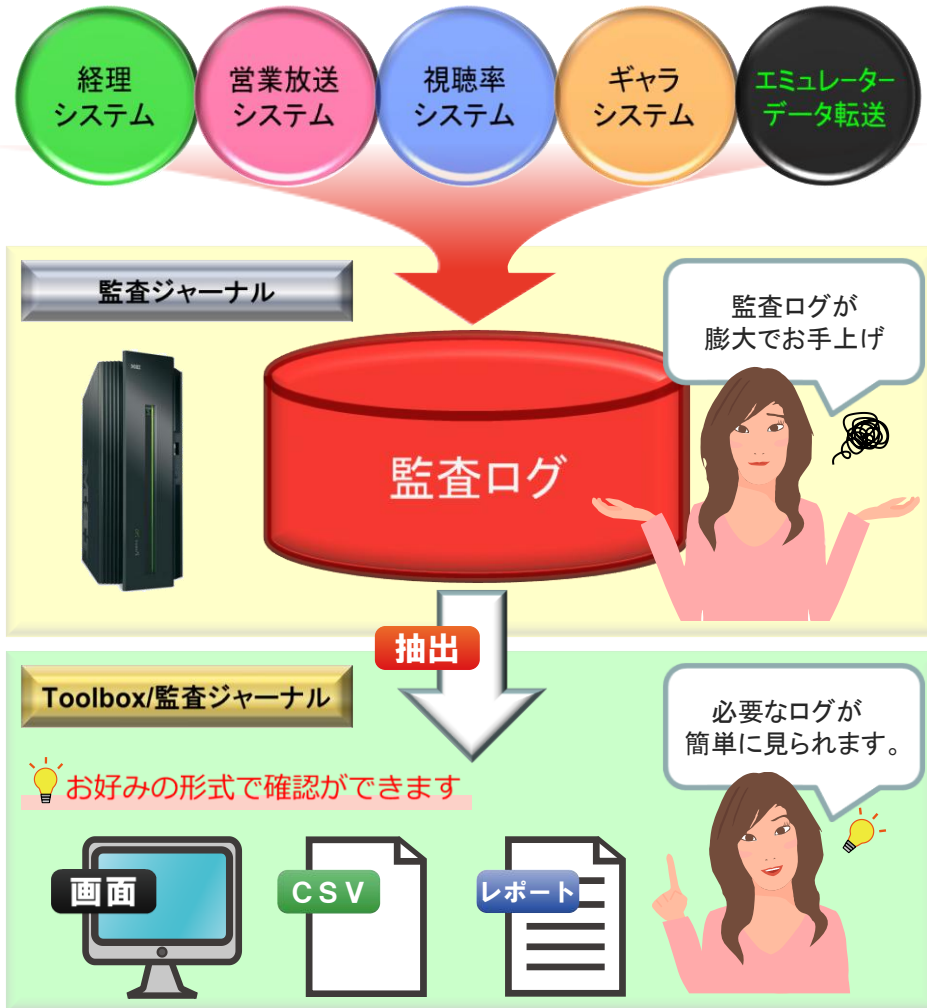
監査ジャーナルはOSに標準装備されている機能です。従って、各種設定を行い、コマンドやQRYを駆使すれば本番環境へのアクセスを監視する事は可能です。しかし、それにはIBM iに熟知した担当者が作業する必要があり、実際にsystx様でもそうしたご担当者様が作業されていました。

内部統制も3年目を迎え効率化が求められています。systx様では、既存セキュリティツールを導入し効率化を図る事も検討しましたが、コストパフォーマンスの良い製品が見つかりませんでした。

そこで、ネオアクシス(株)に開発を依頼し完成したのが、この「Toolbox/監査ジャーナル」です。

使い方が簡単で、
しかも、システムリソースを圧迫しない。

システム概要 IBM i への全てのアクセスを監視



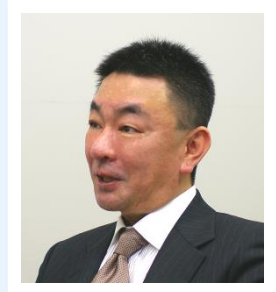
導入効果 膨大な監査ジャーナルを効率的に処理

システムは勿論 24時間365日稼働。TXNネットワーク各局も利用するサブシステムの数は、全体で100以上あります。

それだけのシステムから出力される監査ジャーナルレコードの件数は、一日平均220万件、一週間で実に1千万件を超える程の規模になります。

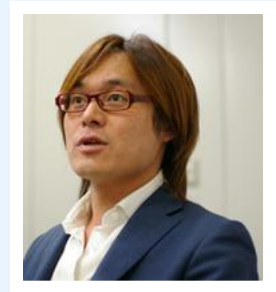
この膨大なジャーナルレコードから、『Toolbox/監査ジャーナル』を導入した事で、効率的かつコンパクトに、必要な監査情報を取得する事に成功しました。

お客様の声



仲摩 一幸様
(株)テレビ東京

内部統制の今後の課題は、いかに効率的に証拠収集を行うかという事が挙げられます。しかし、効率化に走るばかりに情報漏洩等のリスクを高めては意味がありません。そうした中、本製品は両面を満たせる製品であり、効率化と言う面で大きく寄与してくれています。



荒田 真様
(株)テレビ東京システム

監査ジャーナルはOSに標準装備されている機能です。ただ、IBMiを熟知していないと正直、内容が全く分かりません。そのため属人的になりやすく運用に乗せるのが大変でした。本製品はIBMiの基本を知っていれば誰でも使用できるので運用して行くのに非常に役立ちました。